

幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況

～2018年6月「幼児視聴率調査」から～

世論調査部 星 暁子 / 行木麻衣

2018年6月に実施した「幼児視聴率調査」の結果から、幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況を報告する。調査は、東京30キロ圏に住む2～6歳の幼児1,000人を調査相手として、6月4日(月)～10日(日)の1週間実施した。

幼児が1日にテレビを見る時間は1時間39分(週平均)。テレビ視聴時間は、2007年以降2時間程度で推移していたが、2012年に減少して初めて2時間を下回り、以降緩やかな減少傾向にある。また、幼児が録画番組やDVDを再生利用している時間は57分(週平均)で、2011年から2013年にかけて増加し、それ以降は同程度で推移しており、両者の差が縮まっている。

さらに付帯質問の結果をみると、録画・DVD再生を利用する幼児は横ばいで推移する中、インターネット動画を見る幼児の増加が続いている。インターネット動画の再生時間は、「ほとんど、まったく見ない」が前々年から減少した一方で、1時間を超える長時間利用が増加した。

調査期間中によく見られたテレビ番組は、「おかあさんといっしょ」「みいつけた!」などEテレの幼児向け番組や、「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」など民放のアニメ番組であった。

はじめに

2018(平成30)年6月「全国個人視聴率調査」(対象は全国7歳以上)¹⁾と同時期に実施した、「幼児視聴率調査」の結果を報告する。

調査は6月4日(月)～10日(日)の1週間、東京駅から30キロ圏内に住む2～6歳の未

就学児を対象に実施した。住民基本台帳から層化無作為2段抽出した幼児1,000人(10人×100地点)に郵送法(15分単位日記式、保護者による代理記入)で行い、有効数は531人(有効率53.1%)であった。有効サンプルの構成は表1のとおりである。

表1 サンプル構成

全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児	その他不明
531人	261	270	96	137	143	155	199	269	61	2
100.0%	49.2	50.8	18.1	25.8	26.9	29.2	37.5	50.7	11.5	0.4

1. テレビ全体の視聴状況

(1) テレビ視聴時間

長期的に緩やかな減少傾向

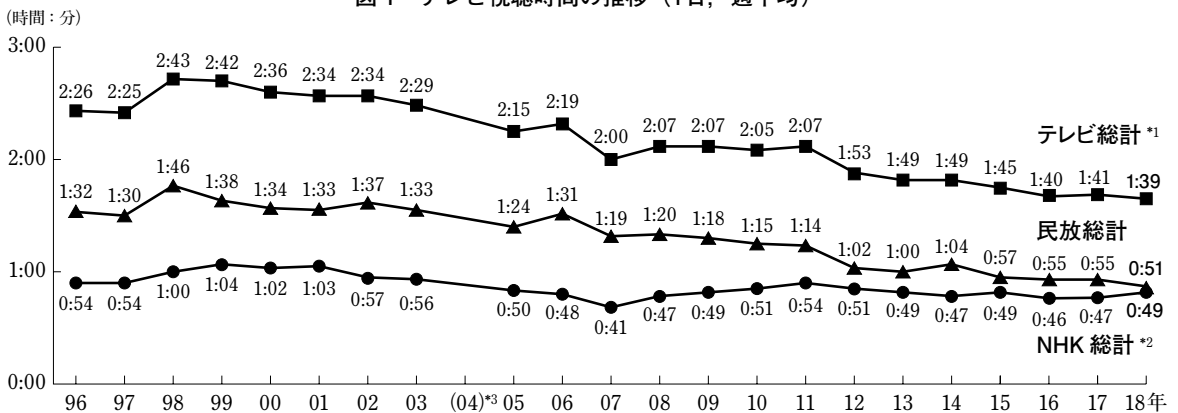
今回、2～6歳の幼児のテレビ視聴時間²⁾は、週平均1日あたり1時間39分で前年(1時間41分)と変わらなかった(図1)。これまでの長期的な推移をみると、幼児のテレビ視聴時間は1998年(2時間43分)から漸減している。2007年以降は2時間程度の水準で推移していたが、2012年に初めて2時間を下回って減少し、2013年以降緩やかな減少傾向が続

いている。

NHK・民放別には、NHK総計49分(前年47分)に対し、民放総計は51分(前年55分)であり、いずれも前年と同程度である。民放総計は2015年から1時間を下回っており、今回初めてNHK総計と同じ水準となった。NHK総計の内訳をみると、総合5分、Eテレ(教育)43分、衛星計0分で、NHK視聴の9割近くはEテレに充てられている。

年齢別にテレビ総計の視聴時間をみると(表2)、2歳が1時間54分と最も長く、3歳が1時間26分と最も短い。NHK・民放別にみると、

図1 テレビ視聴時間の推移(1日、週平均)



*1 テレビ総計は、民放総計(民放地上波と民放衛星波)とNHK総計(NHK地上波とNHK衛星波)の計
 *2 NHK総計のうち衛星波は2007年まではBS1・BS2の2波計、2008～2010年はBS1・BS2・BSハイビジョンの3波計、2011年以降はBS1・BSプレミアムの2波計
 *3 2004年は「幼児視聴率調査」を実施していない

表2 NHK・民放別平均視聴時間(1日、週平均)

(時間:分)

		全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	16年	1:40	1:35	1:46	1:43	1:31	1:47	1:43
	17年	1:41	1:43	1:39	1:46	1:33	1:40	1:45
	18年	1:39	1:35	1:45	1:54	1:26	1:43	1:40
NHK総計	16年	0:46	0:43	0:48	0:54	0:42	0:44	0:42
	17年	0:47	0:49	0:44	0:56	0:49	0:42	0:43
	18年	0:49	0:47	0:50	1:04	0:44	0:47	0:43
民放総計	16年	0:55	0:51	0:58	0:49	0:48	1:03	1:00
	17年	0:55	0:54	0:55	0:50	0:44	0:58	1:02
	18年	0:51	0:48	0:55	0:50	0:41	0:56	0:56

NHK 総計の視聴時間は、2歳が1時間4分と最も長く、3～6歳は、40分台である。民放総計は4～6歳で56分で、2～3歳に比べて長めである。2歳はNHKを見る時間が長め、3歳はNHKと民放を同じくらいの時間見ており、4～6歳は民放を見る時間が長めとなっている。

次に、曜日別のテレビ総計の視聴時間を見ると(表3)、全体で平日平均は1時間38分、土曜は1時間33分、日曜は1時間53分である。いずれの曜日も前年、前々年と比べて変化はない。年齢別にみると、平日は2歳が他の年齢に比べて長めで、日曜は4～6歳が長めである。これは、2歳児が平日のEテレの帯番組をよく見ており、4～6歳児は日曜に多く放送される民放人気アニメ番組などをよく見ていることによる。

曜日別のNHK・民放別視聴時間は図2のとおりである。平日はNHK総計のほうが民放

総計より長い、土曜・日曜はNHK総計の視聴時間が平日より短くなり、日曜はNHK総計の18分に対して、民放総計が1時間35分と、民放総計がNHK総計を大きく上回る。

(2) 幼児と保護者の視聴時間の関連

幼児のテレビ視聴と保護者の視聴時間との関係を見ていく。これまでの幼児視聴率調査などから、幼児の視聴時間は、母親の視聴時間やテレビの見せ方が影響しているという知見が得られている³⁾。本調査では、付帯質問で保護者の視聴状況について尋ねている。2017年までは「お母様(または保護者の方)について伺います」としていたが、今回は、「回答してくださっている保護者の方について伺います」と質問文を変更した⁴⁾。今回の結果でも、保護者の平日1日あたりのテレビ視聴時間が3時間以上と「長時間」テレビを見ている層では、

表3 曜日別平均視聴時間(テレビ総計)

(時間:分)

	全体			男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
	16年	17年	18年						
平日	1:40	1:40	1:38	1:32	1:44	1:57	1:26	1:39	1:37
土曜	1:35	1:37	1:33	1:32	1:35	1:31	1:21	1:45	1:36
日曜	1:48	1:52	1:53	1:44	2:02	1:53	1:33	2:01	2:02

図2 曜日別NHK・民放別の平均視聴時間

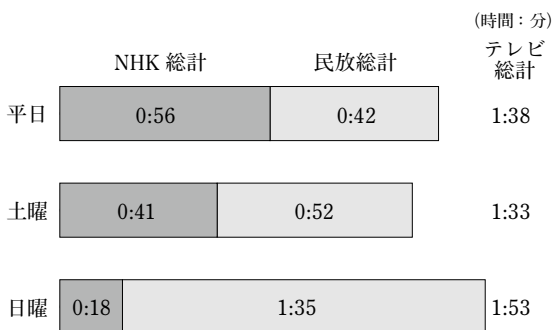


表4 保護者の視聴時間別にみた幼児の視聴時間(テレビ総計, 1日, 週平均)

(時間:分)

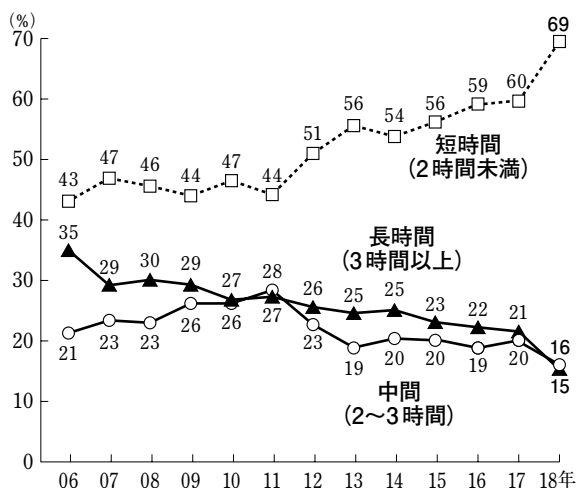
	全体	短時間 (2時間未満)	中間 (2～3時間)	長時間 (3時間以上)
16年	1:40	1:13	1:53	2:44
17年	1:41	1:08	2:10	2:50
18年	1:39	1:19	2:03	2:52

18年のサンプル数 368人 86人 77人

幼児の視聴時間が2時間52分と長めで、保護者の視聴時間が2時間未満と比較的「短時間」である層では、幼児の視聴時間も1時間19分と短かった(表4)。

保護者の視聴時間の長期推移をみると(図3)、幼児の視聴時間が減少した2007年に保護者の「長時間」層が減少し、同じく2012年に「短時間」層の増加が起きている。「短時間」層は2012年に半数を超え、以降も増加傾向が続いて、今回69%となった。保護者の視聴時間の減少が、幼児の視聴時間の長期的な減少に関係しているのではないかと考えられる。

図3 保護者の視聴時間の推移



(3) 最もよく見るチャンネルはEテレ

次に、調査を実施した1週間に、少しでも(15分以上)テレビを見た幼児の割合である週間接触者率をみている(表5)。テレビ総計の週間接触者率は89.1%で前年(89.9%)と同程度である。

局別にみると、Eテレが73.6%と最も高く、次いでテレビ朝日、NTV、フジテレビの順となっている。Eテレは2歳と4歳で接触者率が高く8割程度、接触者率が低めである3歳と5・6歳でも7割程度が接触している。民放では、朝日が4~6歳で5割以上と、比較的高年齢の幼児に見られている。また朝日とNTVはどの年齢でも4割以上に見られている。

表6に2008年からの各局の週間接触者率の推移を示した。Eテレは2008年から80%前後で推移していたが、2012年からは70%台前半となっている。民放各局は2014年から2015年にかけて減少した局が多かったが、その後は同程度で推移し、今年は前年に比べて変化がなかった。

NHK・民放各局別の時間帯別平均視聴率

表5 局別週間接触者率(年齢別)

	全体	2歳	3歳	4歳	5・6歳
テレビ総計	89.1	90	85	93	88
NHK 総計	77.2	81	72	82	76
総合	19.4	15	15	22	24
Eテレ	73.6	79	69	78	71
NTV	44.1	42	45	42	47
朝日	51.0	40	45	60	55
TBS	23.2	21	18	26	27
東京	34.5	21	29	42	41
フジ	43.9	44	39	46	46

■は全体より統計的に有意に高い □は低い(以下同様)*

*全体に対する各年齢層の特徴をみるために、該当する層と、全体から該当する層を除いた残りの層で「互いに独立な%の差の検定」を行った結果。以下の検定式を用いている(以下同様)

$$z = \frac{|p_1 - p_2|}{\sqrt{p_1(100 - p_1) \left(\frac{1}{n_2} - \frac{1}{n_1} \right)}}$$

・ サンプル数: (全体) n_1 、(一部) n_2
 割合(%): (全体) p_1 、(一部) p_2
 ・ $z = 「1.960」$ 以上なら「有意水準(危険率)5%で」有意差あり

(表7)をみると、Eテレは1日の平均で3.9%と最もよく見られ、午前(6.0%)と午後(3.2%)の時間帯によく見られている。民放の中では、夜間のNTV(2.3%)とフジ(1.7%)が高めである。

表6 局別週間接触者率の推移

(%)

	2008	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18年
総合	30	24	25	24	30	31	28	19	23	20	19
Eテレ	80	81	77	81	73	74	71	73	73	72	74
NTV	54	54	55	54	58	49	56	49	45	47	44
朝日	66	71	62	69	57	57	62	55	54	52	51
TBS	47	39	37	34	28	24	23	20	22	24	23
東京	63	66	59	55	47	42	47	44	39	33	35
フジ	77	76	67	69	64	61	64	51	50	50	44

(整数値で比較)

表7 局別時間帯別平均視聴率(週平均)

(%)

時間帯*	総合			Eテレ			NTV			朝日			TBS			東京			フジ		
	16	17	18	16	17	18	16	17	18	16	17	18	16	17	18	16	17	18	16	17	18年
午前	0.4	0.4	0.4	6.0	6.0	6.0	1.0	1.3	1.3	0.9	0.9	1.0	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.5	1.2	1.1	0.9
午後	0.1	0.1	0.1	2.9	3.2	3.2	0.7	0.5	0.5	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
夜間	0.4	0.5	0.5	1.8	1.9	2.4	1.9	2.7	2.3	1.1	1.1	1.0	0.4	0.7	0.4	0.9	0.7	0.6	2.0	1.8	1.7
1日	0.3	0.3	0.4	3.6	3.8	3.9	1.2	1.5	1.4	0.7	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	1.2	1.0	0.9

* 午前：前5:00～後0:00 午後：後0:00～後6:00 夜間：後6:00～前0:00 1日：前5:00～前0:00

(4) 平日のテレビ視聴状況は変化なし

幼児の平日1日のテレビ視聴状況を30分ごとに時間を追って、平均視聴率をグラフにしたものが図4である。平日、幼児がテレビをよく見ている時間は、午前6時30分～9時と、午後4時30分～8時30分である。これは、特に朝や夕方に、幼児・子ども向けの番組やアニメ番組などが多く放送されているため、この視聴傾向はこれまでと変わらない。前年と比べて視聴率に変化はなかった。

(5) 上位10番組中Eテレの番組が7番組

NHK・民放全体で幼児によく見られた番組は、Eテレ「おかあさんといっしょ」(26.5%)、「みいつけた!」(26.0%)、テレビ朝日「ドラえもん」(23.8%)などである(表8)。

上位10番組中7番組がEテレの番組となった。また、2015年以降、30%を超える番組はない⁵⁾。

テレビ朝日で金曜午後7時台放送の「ドラえもん」,「クレヨンしんちゃん」(23.0%)は20%台前半を維持し、上位10番組に入っている。一方、フジテレビで日曜午後6時台放送の「ちびまる子ちゃん」(19.5%)、「サザエさん」(19.4%)は、いずれも20%を下回り、今回は上位10番組に入らなかった。

2017年10月の改編で、テレビ朝日が日曜朝に放送している「仮面ライダーシリーズ」と「スーパー戦隊シリーズ」の放送時間が変更になった⁶⁾。各シリーズの視聴率をみたところ、「仮面ライダービルド」は前々年、前年と比べて減少した(21.5%→20.9%→14.4%)が、「快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー」は同程度だった(18.1%→17.8%→14.9%)。いずれも上位10番組に入らなかった。

(6) 2～3歳によく見られているEテレ

年齢別によく見られた番組を比べたのが表9

図4 テレビ総計の30分ごとの平均視聴率（平日）

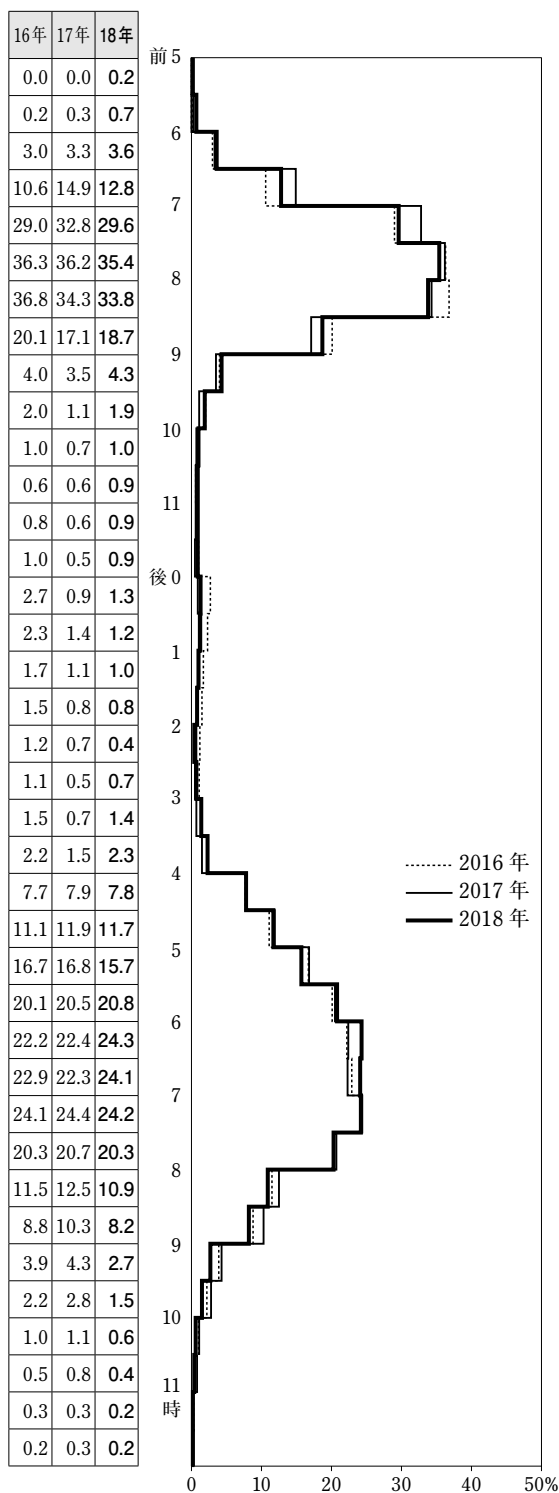


表8 NHK・民放でよく見られている番組（放送時間10分以上）

曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率 (%)
火	前8:00	Eテレ	#おかあさんといっしょ	26.5
火	前7:45	Eテレ	#みいつけた!	26.0
金	後7:00	朝日	ドラえもん	23.8
金	後7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	23.0
木	前7:35	Eテレ	#コレナンデ商会	22.4
土	前8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	21.3
火	前8:25	Eテレ	#いないいないばあっ!	21.1
日	前8:30	朝日	HUGっと!プリキュア	21.1
火	後5:45	Eテレ	#キッチン戦隊クックルン	20.9
土	前8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	20.3

#は帯番組で最も視聴率が高い曜日の数値（以下同様）

である。2～3歳では、「おかあさんといっしょ」をはじめ、Eテレの平日朝と夕方の番組がよく見られている。4歳以上になると民放のアニメ番組が上位に挙がるが、今回は上位10番組のうち過半数はEテレの番組となっている。

2. NHK テレビの視聴状況

(1) よく見られている朝7～8時台の番組

Eテレでよく見られた番組は表10のとおりである。「おかあさんといっしょ」(26.5%)、「みいつけた!」(26.0%)、「コレナンデ商会」(22.4%)など平日午前7～8時台の番組が例年同様に上位となっている。

総合テレビでは、月～土曜午前8時の連続テレビ小説「半分、青い。」(月～土平均・3.3%)、日曜午後7時30分の「ダーウィンが来た!」(3.4%)がよく見られた。

また、BSプレミアムで最もよく見られた番組は、「おとうさんといっしょ」(日曜 前9:00)で、視聴率は0.8%であった。

表9 NHK・民放でよく見られている番組（年齢別）（放送時間10分以上）

2歳					3歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
月水	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	38	火	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	32
水	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	35	水	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	28
火水	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあっ!	33	木	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	23
木	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	30	火	後 5:45	Eテレ	# キッチン戦隊クックルン	22
月	前 7:15	Eテレ	# アニメ はなかっぱ	29	土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	21
月	前 7:00	Eテレ	# シャキーン!	28	日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	21
土	前 8:25	Eテレ	ムジカ・ピッコリーノ	27	火	前 8:25	Eテレ	# いないいないばあっ!	21
水	後 5:10	Eテレ	# えいごであそぼ with Orton	24	火	後 5:35	Eテレ	コレナンデ商会	20
水	後 5:25	Eテレ	# アニメ はなかっぱ	24	火	後 6:00	Eテレ	# アニメ わしも	20
水	後 5:00	Eテレ	# にほんごであそぼ	23	土	前 8:35	Eテレ	アニメ おさるのジョージ	20

(%)

4歳					5・6歳				
曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率	曜日	放送時刻	局	番組名	視聴率
金	後 7:00	朝日	ドラえもん	32	金	後 7:00	朝日	ドラえもん	27
月	後 6:10	Eテレ	# アニメ 忍たま乱太郎	30	火	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	26
月	後 6:00	Eテレ	# アニメ わしも	29	金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	26
金	後 7:30	朝日	クレヨンしんちゃん	28	火	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	24
月	後 6:20	Eテレ	# 天才てれびくん YOU	26	火	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	23
月	前 7:45	Eテレ	# みいつけた!	26	日	前 8:30	朝日	HUGっと!プリキュア	21
日	前 8:30	朝日	HUGっと!プリキュア	26	火	後 5:45	Eテレ	# キッチン戦隊クックルン	21
金	前 8:00	Eテレ	# おかあさんといっしょ	24	日	後 6:00	フジ	ちびまる子ちゃん	20
金	前 7:35	Eテレ	# コレナンデ商会	23	月	後 6:00	Eテレ	# アニメ わしも	20
月	後 5:45	Eテレ	# キッチン戦隊クックルン	22	月	後 6:10	Eテレ	# アニメ 忍たま乱太郎	20
日	後 6:30	フジ	サザエさん	22					

□ Eテレの番組

表10 Eテレでよく見られている番組（放送時間10分以上）

(%)

曜日	放送時刻	番組名	視聴率
火	前 8:00	# おかあさんといっしょ	26.5
火	前 7:45	# みいつけた!	26.0
木	前 7:35	# コレナンデ商会	22.4
土	前 8:25	ムジカ・ピッコリーノ	21.3
火	前 8:25	# いないいないばあっ!	21.1
火	後 5:45	# キッチン戦隊クックルン	20.9
土	前 8:35	アニメ おさるのジョージ	20.3
火	後 6:00	# アニメ わしも	20.2
月	後 6:10	# アニメ 忍たま乱太郎	20.1
火	後 5:35	コレナンデ商会	18.8

(2) Eテレ 幼児・子どもゾーンの番組の視聴状況

Eテレの平日朝の主な番組の視聴率は表11のとおりである。午前6時35分の「にほんごであそぼ」から視聴率が増加し始め、「シャキーン!」(前7:00)で10%を超える。それ以降、番組の視聴率がさらに上がり、「ピタゴラスイッチ ミニ」(前7:30)から「いないいないばあっ!」(前8:25)まで20%を超える。朝の時間帯で最もよく見られているのは「おかあさんといっしょ」(前8:00)で25.7%である。年齢別にみると、「おかあさんといっしょ」以降の番組は、2歳児でよく見られている。これは午前8時を過ぎると幼稚園・保育園に通っている幼

表 11 平日 朝の主な E テレの番組 男女年齢別視聴率 (月～金平均)

(%)

番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
前 6:35 にほんごであそぼ	3.1	4.4	4	3	4	4	3	2
前 6:45 えいごであそぼ with Orton	6.0	8.1	6	6	9	7	5	5
前 6:55 Eテレ 0655	6.0	8.1	6	6	9	7	5	5
前 7:00 シャキーン!	14.2	14.7	14	14	23	12	13	12
前 7:15 アニメ はなかつぱ	16.9	18.6	17	17	25	16	15	15
前 7:25 デザインあ 5分版	16.9	18.6	17	17	25	16	15	15
前 7:30 ピタゴラスイッチ ミニ	21.7	20.4	21	22	27	21	22	19
前 7:35 コレナンデ商会	21.7	20.4	21	22	27	21	22	19
前 7:45 みいつけた!	24.2	22.0	23	26	29	25	23	22
前 8:00 おかあさんといっしょ	25.7	27.4	24	27	35	28	22	21
前 8:25 いないいないばあっ!	20.4	21.2	19	22	32	19	18	17
前 8:40 オトッペ	18.1	18.5	17	19	30	15	16	16
前 8:45 プチプチ・アニメ	11.2	10.1	11	11	22	10	9	8
前 8:50 てれび絵本	11.2	10.1	11	11	22	10	9	8
前 8:55 みんなのうた	11.2	10.1	11	11	22	10	9	8

■は全体より統計的に有意に高い □は低い (以下同様)

表 12 土曜・日曜 朝の主な E テレの番組 男女年齢別視聴率

< > は前年の同時時間帯の視聴率 (以下同様) (%)

曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	前 6:35 ごちそうぐ DJ	1.7	<1.4>*1	1	2	1	1	2	3
	前 6:40 オドモ TV	2.2	<1.9>*1	1	3	2	2	2	3
	前 6:50 ミミクリーズ	2.6	2.3	2	4	3	2	2	3
	前 7:00 デザイン あ	6.4	6.6	5	8	9	7	4	6
	前 7:15 なりきり! むーにゃん生きもの学園	7.5	8.3	5	10	10	7	6	8
	前 7:30 ノーリーのひらめき工房	13.9	12.2	13	15	18	14	13	12
	前 7:45 ピタゴラスイッチ	15.4	13.2	14	17	21	14	17	12
	前 8:00 おかあさんといっしょ土曜日	20.8	21.9	17	25	29	21	21	15
	前 8:25 ムジカ・ピッコリーノ	21.3	21.9	20	23	27	21	22	18
	前 8:35 アニメ おさるのジョージ	20.3	19.3	21	20	23	20	21	19
前 9:00 アニメ ひつじのショーン	13.2	14.2	12	15	13	14	12	15	
前 9:20 アニメ ピンクー in ザ・シティ ほか*2	11.1	12.8	9	13	9	12	9	14	
日	前 7:00 コレナンデ サンデー	4.7	<4.1>*3	5	5	13	2	4	3
	前 7:10 みいつけた! さん	6.0	<5.3>*4	6	6	13	4	5	4
	前 7:40 オトッペ	7.3	<6.6>*4	7	7	14	5	6	7
	前 7:45 アニメ わしも	7.2	<6.8>*4	7	7	14	7	6	5
前 7:55 みんなのうた	7.2	<6.8>*4	7	7	14	7	6	5	

*1 前年は「いじめをノックアウト」(1.4%) 6:35～6:45、「フックブックローミニ」(2.3%) 6:45～6:50

*2 前年は「アニメ はなかつぱ」

*3 前年は「みんなのうた」(4.1%) 7:00～7:05、「アニメ わしも」(4.1%) 7:05～7:15

*4 前年は「オトッペ」(4.8%) 7:15～7:20、「どちゃもん あさめしまえ」(4.8%) 7:20～7:30、「みいつけた! さん」(6.7%) 7:30～8:00

児の多くは家を出る⁷⁾ため、未就園児の多い2歳の視聴が3歳以上と比べて多くなることによる。今回は、「シャキーン!」から「デザインあ 5分版」(前7:25)までの番組も、2歳で高くなっている。

土曜・日曜の朝の番組視聴率をみると(表12)、土曜は「おかあさんといっしょ土曜日」(前8:00)、「ムジカ・ピッコリーノ」(前8:25)、「アニメ おさるのジョージ」(前8:35)と、午前8時台の番組がいずれも20%を超えてよく

見られている。日曜午前の幼児・子ども向け番組の視聴率は、いずれも前年と同程度で、全体と比べて2歳でよく見られている。

Eテレの平日夕方の主な番組視聴率をみる

と(表13)、午後4時から徐々に視聴率が増加し、午後5時から6時45分までの番組が12～20%程度とよく見られている。全体の視聴率では、「わたたまドッカ〜ン」(月曜 後6:45)

表13 平日 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率 (曜日の表記があるもの以外は月～金平均)

番組名		全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
後4:00	みんなのうた	4.5	4.8	4	5	9	4	4	3
後4:05	いないいないばあ!	4.9	5.2	4	6	10	4	4	4
後4:20	おかあさんといっしょ	7.3	7.5	6	8	13	7	6	6
後4:45	みつつけた!	9.1	9.9	8	10	15	10	7	7
後5:00	にほんごであそぼ	12.3	13.7	12	12	17	13	10	11
後5:10	えいごであそぼ with Orton	12.6	13.8	12	13	16	13	11	12
後5:20	ミニアニメ・うさぎのモフィ ほか	12.9	14.0	13	13	16	14	11	12
後5:25	アニメ はなかつぱ	14.9	14.8	14	15	17	15	14	15
	月 ミミクリーズ	17.7	17.4	16	19	19	17	18	18
後5:35	火 コレナンデ商会	18.8	15.9	18	20	16	20	20	18
	金 ムジカ・ピッコリーノ	14.3	12.6	15	14	13	15	14	16
後5:35	(水木) ピタゴラスイッチ ミニ ほか	17.0	16.3	16	18	19	16	16	17
後5:40	(水木) ノーゾーのひらめき工房ミニ ほか	17.0	16.3	16	18	19	16	16	17
後5:45	ゴー!ゴー!キッチン戦隊クックルン	18.2	17.6	17	20	18	18	20	18
後5:55	オトツペ	18.2	17.6	17	20	18	18	20	18
後6:00	(月火) アニメ わしも	20.1	16.1	19	22	14	18	27	20
	(水～金) アニメ おじゃる丸	16.5	15.7	17	16	16	13	20	17
後6:10	アニメ 忍たま乱太郎	17.5	14.8	18	17	14	15	23	17
後6:20	(月～木) 天才てれびくん YOU	15.2	12.6	17	14	10	12	21	16
	金 ビットワールド	12.6	9.0	14	12	9	10	16	15
後6:45	月 わたたまドッカ〜ン	15.3	10.6	17	14	9	13	22	15
	火 アニメ 少年アシベ GO!GO!ゴマちゃん	11.5	9.3	10	13	7	10	16	12
	水 アニメ ねこねこ日本史	13.0	9.9	17	10	8	12	17	14
後6:55	(月～木) 100オトナになったらできないこと	6.4	4.4	6	6	5	6	8	6
	金 Eダンスアカデミー	4.1	2.9	5	4	4	4	3	5

表14 土曜・日曜 夕方の主なEテレの番組 男女年齢別視聴率

曜日	番組名	全体	前年	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
土	後5:00 おかあさんといっしょ土曜日	8.5	6.4	8	9	11	6	12	6
	後5:25 アニメ ビンダー in ザ・シティ ほか*1	8.6	6.6	8	9	12	7	11	6
	後5:35 アニメ メジャーセカンド*2	7.9	6.6	8	8	11	7	9	6
	後6:00 アニメ スポンジ・ボブ	9.1	6.8	10	9	7	9	9	10
	後6:25 海外ドラマ ゲームシェイカーズ*3	5.6	4.4	6	5	4	6	8	5
	後6:50 基礎英語0・世界エイゴミッション*4	4.5	3.7	5	4	3	5	7	3
日	後5:00 ニャンちゅう!宇宙!放送チュー!*5	6.2	6.5	6	6	9	4	7	6
	後5:25 ミニアニメ・ミッフィーのぼうけん	6.8	6.6	7	7	9	4	8	6
	後5:30 きかんしゃトーマス	7.9	7.4	8	7	10	5	8	8

*1 前年は「少年アシベ GO! GO! ゴマちゃん」後5:25～5:35
 *2 前年は「アニメ境界のRINNE3」
 *3 前年は「海外ドラマ サンダーマンシーズン2」
 *4 前年は「エイゴビート」
 *5 前年は「ニャンちゅうワールド放送局」

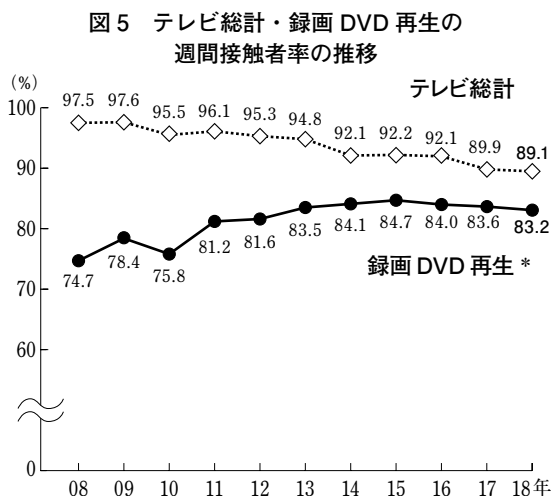
の視聴率が15.3%と、前年と比べて増加した。年齢別にみると、午後4時台の番組が、全体と比べて2歳でよく見られている。

土曜・日曜の夕方番組視聴率は表14のとおりである。土曜は、午後5時から6時台前半の番組が8～9%程度である。日曜は午後5時台の番組視聴率が、7%前後となっている。

3. 録画番組とDVDの利用状況

(1) 録画番組・DVDの再生時間、週間接触者率は横ばい

本調査では、テレビ視聴状況とともに、録画番組と市販・レンタルDVDの再生状況も同様に記入してもらっている。ここからは録画番組



* 調査票での選択肢は「ビデオの再生」(～2008)、「ビデオ・DVDの再生」(2009・2010)、「ビデオ・HDD・DVDの再生」(2011・2012)、「録画番組やDVDの再生」(2013～)と変遷している。報告上は2012年まで「ビデオ再生」、2013年から「録画DVD再生」としている。

組やDVDの利用状況を紹介する。

1週間に少しでも録画番組やDVDを見た幼児(週間接触者率)は83.2%で、前年(83.6%)と同程度である。長期的にみると、2000年代後半は70%台で、2011年に増加し80%を超えたが、2013年以降は横ばいとなっている(図5)。

次に再生時間をみると、利用していない幼児も含む1日あたりの録画DVD再生時間は57分であった(表15)。2歳が1時間を超えて長めの傾向であることは前年と変わらないが、今回は3歳以上で54～56分と、年齢による大きな差はみられない。

曜日別に録画DVD再生時間をみると(図6)、土曜・日曜はともに1時間を超え、平日と比べて長い。テレビ視聴時間と録画DVD再生時間をあわせた1日のトータルの視聴時間に占める割合をみると、土曜・日曜は4割を超え、平日に比べて大きい。

図6 曜日別録画DVD再生時間とテレビ視聴時間

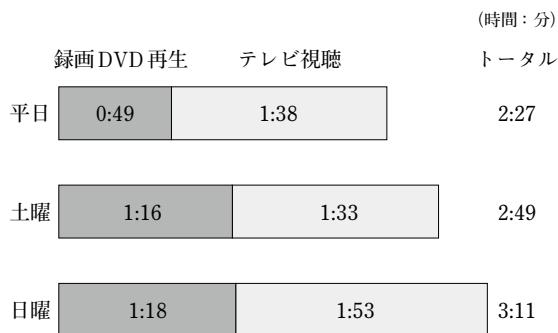


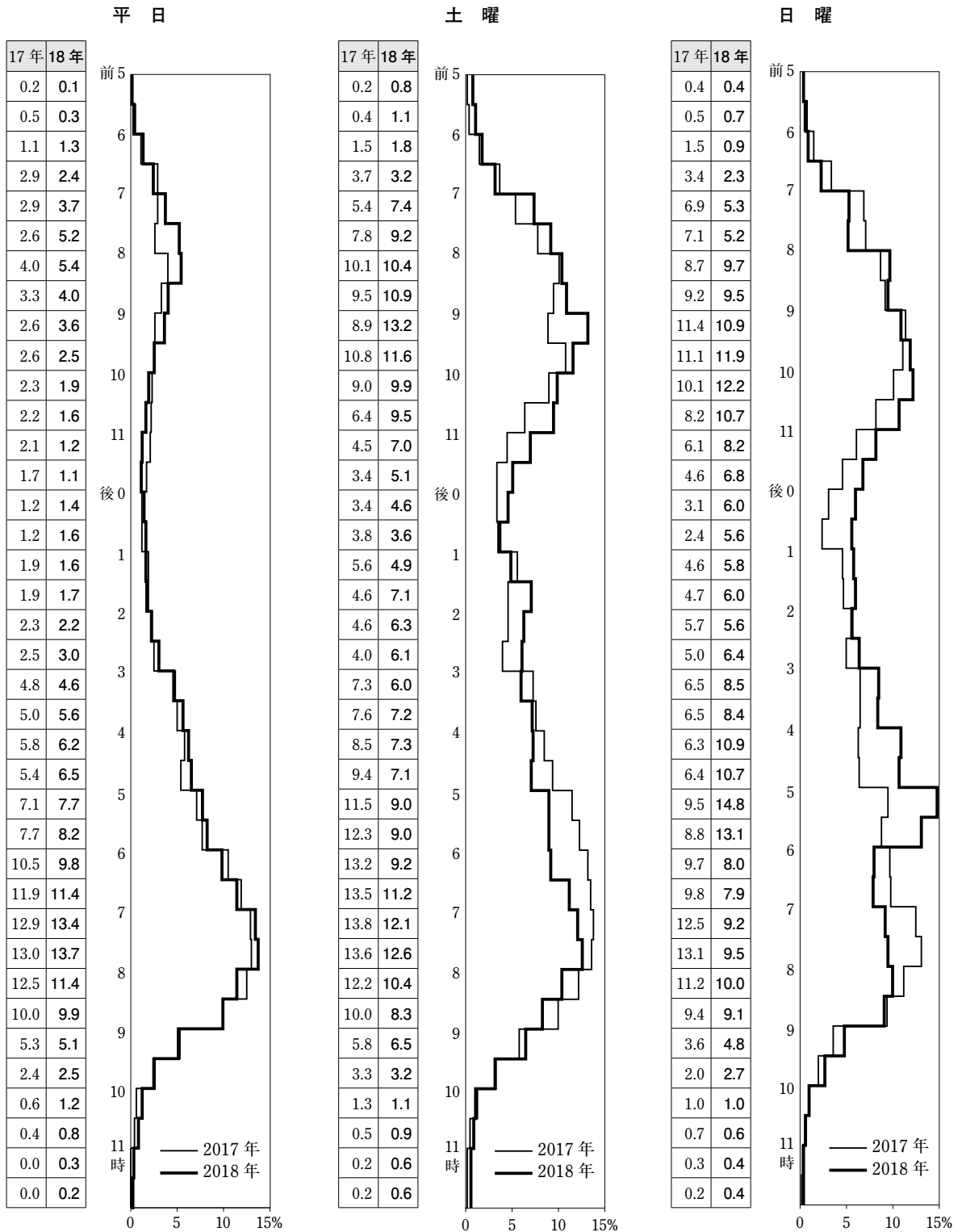
表15 録画DVD再生時間*(1日、週平均)

(時間:分)

	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳	保育園児	幼稚園児	未就園児
16年	0:54	0:55	0:54	0:58	0:54	0:51	0:54	0:52	0:54	0:58
17年	0:55	0:57	0:52	1:04	0:54	0:55	0:49	0:54	0:51	1:18
18年	0:57	1:05	0:50	1:10	0:56	0:55	0:54	1:02	0:52	1:07

* 録画DVD再生を利用していない幼児も含む

図7 録画DVD再生の30分ごとの平均利用率（平日・土曜・日曜）



録画DVD再生の30分ごとの平均利用率を見ると(図7), 平日よく利用されているのは午前7時30分～8時30分, 午後3時30分～9時30分で, 特に午後6時30分～8時30分で10%以上と高い。前年と比べて, 午前7時30分～8時で増加した。土曜・日曜は夜間に加えて午前にも利用の山があり, そのほか午後

の時間帯も5%を超える時間が多く, 1日を通して平日より利用されている。前年と比べて, 土曜は午前9時～9時30分で増加し, 午後6時～6時30分で減少した。日曜は午後0時～1時, 午後4時～6時で増加した。

2008年以降の録画DVD再生時間とテレビ視聴時間の長期推移を図8に示した。録画DVD再生は, 2011年までほぼ横ばいだったが, 2011年から2013年にかけて増加し, それ以降は同程度で推移している。一方のテレビ視聴時間は, 前述のとおり2012年に2時間を下回って減少し, その後も緩やかな減少傾向であるため, 2012年以降, テレビ視聴と録画DVD再生との時間量の差は縮まっている状況が続いている。

そこで, 録画DVD再生について平日の30分ごとの平均利用率を2008年と2018年で比べたところ, テレビ総計の視聴率が減少した時間帯の多くで, 録画DVD再生の利用率が増加する傾向がみられた。しかし, テレビ総計の減少分に置き換わるほど, 2018年の録画DVD再生が増加しているわけではない⁸⁾。

そこで, 録画DVD再生について平日の30分ごとの平均利用率を2008年と2018年で比べたところ, テレビ総計の視聴率が減少した時間帯の多くで, 録画DVD再生の利用率が増加する傾向がみられた。しかし, テレビ総計の減少分に置き換わるほど, 2018年の録画DVD再生が増加しているわけではない⁸⁾。

図8 テレビ視聴時間と録画DVD再生時間の推移(1日, 週平均)

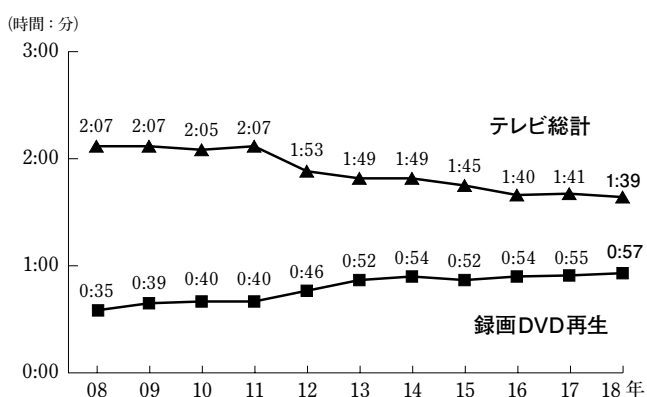
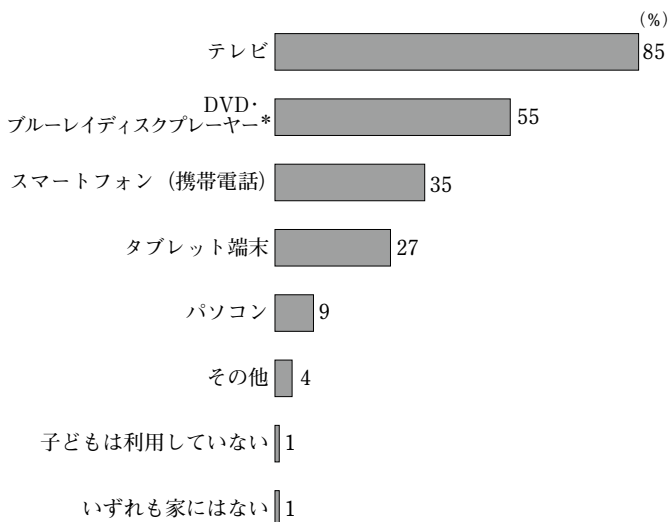


図9 録画番組, 市販・レンタルDVD, インターネット動画を見る機器(複数回答)



*「専用機器」と限定しなかったため, 録画機能としての「DVD・ブルーレイディスクプレーヤー」も含まれた可能性がある

(2) 8割以上が「テレビ」を利用して映像を見ている

付帯質問で, 幼児が録画番組や市販のDVD, インターネット動画などをどんな機器で見ているかを複数回答で尋ねた(図9)。最も多いのは「テレビ」(85%)で, 8割以上の幼児がテレビを利用して映像を見ている。今回, 付帯質問の質問文および選択肢の一部を変更したため, 単純に比較はできないが, 「スマート

フォン(携帯電話)」は、前年、前々年と比べて増加し、「タブレット端末」は前々年より増加しているが、前年とは変わらない⁹⁾。

(3) インターネット動画を見る幼児の増加が続く

同様に付帯質問で、休日を除くふだんの日1日に「インターネット動画」をどのくらい再生して見ているかを尋ねた。

インターネット動画を見ている幼児の、動画の再生時間は「30分未満」(22%)が最も多く、続いて「30分以上1時間未満」(12%)だった(図10)。前々年と比べて「ほとんど、まったく見ない」が減少し、1時間を超える長時間利用者が増加した。

インターネット動画の再生時間について、「15分未満」から「2時間以上」まで「見る」と答えた人すべてを足し上げると(視聴計)、イン

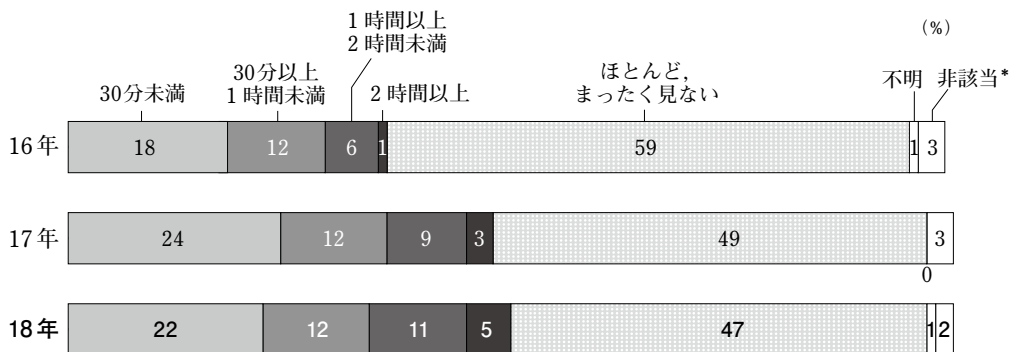
ターネット動画を見る幼児は前々年と比べて増加し、50%となった(表16)。前々年と比べて、男の子、女の子ともに増加し、年齢別では3歳で増加した。今回、インターネット動画は年齢による差がなく、2～6歳の幼児に満遍なく浸透している様子が見えてくる。

まとめ

幼児のテレビ視聴時間は2012年に減少し、以降緩やかな減少傾向にある一方で、録画番組・DVDの再生時間は2013年以降変化がなく、差が縮まっている状況が続いている。

接触者率からみると、Eテレの接触者率が73.6%と前年、前々年と変わらず堅調なもの、民放各局の接触者率は、低めとなった前年、前々年と同程度であった。幼児のテレビ総計の週間接触者率は2013年まで95%前後

図10 インターネット動画の1日の再生時間の分布



* 非該当は録画、DVD、動画の再生機器などが「家にあるが子どもは利用していない」と「いずれも家にはない」の回答者

表16 インターネット動画の視聴計

	全体	男	女	2歳	3歳	4歳	5・6歳
16年	38	39	36	42	35	34	41
17年	47	53	42	55	53	48	39
18年	50	54	46	51	55	45	49

で、2017年に初めて90%を下回り、今回は89.1%だった。録画・DVD再生の週間接触率は、2000年代後半は70%台で、2011年に80%を超え、2013年以降は83～84%程度で推移している。その中で、インターネット動画を見る幼児は前々年から増加した。

今回、録画番組や市販・レンタルDVD、インターネット動画などをどんな機器で視聴しているのかを尋ねたところ、テレビが最も多く、幼児が映像を見る画面としてテレビを多く利用していることがわかった。一方で、スマートフォン(携帯電話)やタブレット端末も3割前後利用されており、映像を見る画面がモバイル端末へシフトする動きがあるのか、今後も注視したい。

付帯質問で、「お子様がテレビを見ることについて、どのように思うか」を複数回答で尋ねたところ、最も多いのは「子どものためになる番組を見せたい」が68%で、次いで「子どもがテレビを楽しむのはいいことだ」が46%、「子どもと一緒にテレビを見ることは楽しい」が45%だった。前年の報告では、自由記述の回答欄から保護者が子どもの教育に直接役立つ内容をテレビ番組に期待する声がみられたと報告した¹⁰⁾が、今回の結果からも約7割の保護者がテレビに対して「子どものためになる番組」を期待していることがわかった。また、子どもと一緒にテレビを楽しんでいる保護者も半数近くおり、テレビに教育的機能を望んでいる姿や娯楽として楽しんでいる姿がみられた。

幼児のテレビ視聴は、保護者のテレビ視聴状況、テレビやインターネット動画に対する意識、さらにはメディア環境の変化などからも影響を受けると考えられる。引き続き、これらの動向にも注目していきたい。

(ほし あきこ/なみき まい)

注：

- 1) 吉藤昌代/斉藤孝信/林田将来/山本佳則「テレビ・ラジオ視聴の現況～2018年6月全国個人視聴率調査から～」『放送研究と調査』2018年9月号
- 2) テレビ視聴、および録画番組や市販のDVDなどの再生について、調査を開始した1990年から2012年まで「家庭内での視聴のみ」としていたが、デジタル録画再生機器の普及を背景に、2013年から「家族で移動中(車中など)の視聴も含む」こととした。幼稚園や保育園での視聴は、これまでどおり含めていない。
- 3) 白石信子「幼児で高い夕方のテレビ視聴～2000年7月幼児視聴率調査から～」『放送研究と調査』2000年11月号で、幼児と母親の視聴時間の関連性を述べている。
- 4) 母親の回答率は86%であった。全体と母親とでは、付帯質問の結果に違いはほとんどみられなかった。
- 5) 高位番組には、1990年代前半は視聴率60%以上、1990年代後半は50%以上、2000年代は2007年を除き、40%以上の番組があった。2010年以降は30%以上の番組があったが、2015年に初めて30%を超える番組が1本もなくなった。
- 6) 「スーパー戦隊シリーズ」の放送時間は、1997年4月から2017年9月までは午前7時30分～8時だったが、2017年10月以降は午前9時30分～10時と変更された。また、「仮面ライダーシリーズ」の放送時間は、2000年1月から2017年9月までは午前8時～8時30分だったが、2017年10月以降は午前9時～9時30分と変更された。
- 7) 「幼児生活時間調査」(2013年3月、東京50キロ圏に住む0歳(4か月)～就学前の幼児1,500人を調査対象とし、NHK放送文化研究所が実施)によると、午前8時30分には、幼稚園児の45%、保育園児の73%が在園している。
- 8) 例として、午前7時30分～8時では、テレビ総計の視聴率が減少(2008年:42.0%→2018年:35.4%)したが、録画DVD再生の利用率は増加(1.4%→5.2%)した。また、午後7時30分～8時ではテレビ総計が減少(30.0%→20.3%)したが、録画DVD再生は増加(8.5%→13.7%)した。
- 9) 2017年までは、付帯質問で「幼児が録画番組や市販・レンタルDVD、インターネット動画などを見るときに多く利用する機器」を複数回答で尋ねている。「携帯・スマートフォン」は、2016年:20%、2017年:29%、「タブレット端末」は、2016年:17%、2017年:24%だった。今回は、「スマートフォン(携帯電話)」35%、「タブレット端末」27%だった。
- 10) 星暁子/渡辺洋子「幼児のテレビ視聴と録画番組・DVDの利用状況～2017年6月幼児視聴率調査から～」『放送研究と調査』2017年10月号